

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成30年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
剣淵町	下水道事業	農業集落排水	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

- ④ 知見やノウハウ不足により抜本的な改革の検討に至らないため
- ⑤ 事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から抜本的な改革の検討に至らないため
-

（左記で「⑦その他」となっている場合の詳細）

（今後の経営改革の方向性等）

経営改革の方向性としては、広域化や包括民間委託のほか、農業集落排水事業を廃止し、公共下水道と統合させることが考えられるが、地理的に難しく現実的ではない。今後の人口減少や管渠の更新など考えたときに、処理方法の見直しも選択肢のひとつであると考えている。